



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～



岐阜県は全国でも最も地歌舞伎の盛んな地域です。特に昔ながらの芝居小屋が9つ現存しており、全国的にも貴重な地域です。その中でも下呂市内には「鳳凰座」「白雲座」の2つの芝居小屋が残り、今も利用されています。

年に一度、5月にしか上演しない鳳凰座歌舞伎を特別に上演します。また、伝統ある小坂町の津島神社金蔵獅子が初めて芝居小屋で上演します。昔ながらの芝居小屋で、江戸時代にタイムスリップした気分で特別な時間をお楽しみください。

日時

10月20日 午後2時開演

会場

下呂市御厩野「鳳凰座」

入場無料
予約不要

鳳凰座歌舞伎特別公演

地歌舞伎フェスティバル in 下呂温泉

特別出演

津島神社 金蔵獅子

(小坂)

地芝居スタンプラリー

9月から11月24日の間に県内各地で開催される地芝居公演を巡るスタンプラリーを開催します。会場で配布する地芝居印帳にスタンプを集めると景品と交換できます。



- ① 歌舞伎 (鳳凰座歌舞伎保存会)
仮名手本忠臣蔵 七段目 一力茶屋
- ② [特別出演] 津島神社 金蔵獅子(小坂町)
- ③ 子ども歌舞伎 (鳳凰座歌舞伎保存会)
菅原伝授手習鑑 車曳 (終演予定 17時頃)



お問い合わせ

国民文化祭下呂市実行委員会

下呂市役所地域振興課 (下呂市民会館内)

TEL0576-23-3777



津島神社 金蔵獅子(小坂)

天狗面の金蔵とおかめが協力して獅子(いのしし)を退治する「金蔵物語」を展開する舞である。飛騨では江戸末期から明治初期に金蔵獅子が始まったようで、この類の獅子舞は北信越・越中・能登にも分布している。

小坂の金蔵獅子は赤い天狗面の大人の金蔵が短棒で獅子を退治する舞であり、古川、国府方面との共通性が窺える。

(下呂市教育委員会・下呂市の文化財ガイドマップより)

鳳凰座／鳳凰座歌舞伎

鳳凰座は下呂温泉の東約十二キロ、飛騨と美濃の国境「舞台峠」の麓、御厩野地区にあります。この舞台は、日枝神社境内にあった拝殿型舞台を文政十年(一八二七年)に現在地へ移転、拡張とともに見物席を増設。明治十六年、昭和二十八年の大改築を経て平成十年の大改修により現在の状態となっています。

鳳凰座村芝居(歌舞伎)は、文化文政期に始まり、明治・大正時代に隆盛となりましたが、太平洋戦争により中断。しかし、戦後間もない昭和二十年秋には公演が行われていました。昭和三十五年三月、鳳凰座村芝居後援会、鳳凰座村芝居(歌舞伎)保存会が発足。現在の鳳凰座歌舞伎保存会に引き継がれ、毎年五月三日、四日に公演を行っています。

仮名手本忠臣蔵七段目(力茶屋)

歌舞伎の三大名作といわれる「仮名手本忠臣蔵」の一場面です。艶やかな色彩と、兄弟の悲哀のやりとりなど、歌舞伎の魅力をつぶりお楽しみください。

【あらすじ】

由良之助が釣灯籠の灯りで密書を読み、それを離れた座敷から手鏡を使って盗み読むお軽。縁の下には九太夫が隠れ、垂れ下がってきた密書を読みます。密書を読まれたことを悟った由良之助は、お軽の口を封じようと身請け話を持ちかけます。お軽が喜んでいて兄・平右衛門に出会います。平右衛門は、由良之助が身請けしようとする真意に気付き、お軽に兄の手にかかって死んでくれと頼みます。

お軽が命を差し出そうとする、兄妹の一途な心を見届けた由良之助が止め、平右衛門に仇討ちに加わることを許します。

子ども歌舞伎 菅原伝授手習鑑 車曳

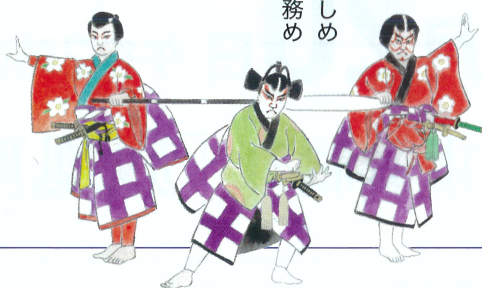
短い芝居ですが、歌舞伎の様式美が楽しめる名場面です。子どもたちが一生懸命務めますので、ぜひご声援ください。

【あらすじ】

三つ子の兄弟である梅王丸・松王丸・桜丸は舎人(どねり)奉公をしており、梅王は管丞相(かんしょう)といふ、松王は時平(しへい)、桜丸は斎世(さいせい)親王にそれぞれ仕えています。

御台の行方を探る梅王丸に行きあつた桜丸は、恋の取り持ちが丞相流罪の因となった身の不運を嘆きます。そこに吉田社を参詣する藤原時平の牛車を通りかかります。

二人は丞相流罪の意趣返しに時平の車へ挑みかかり、それを阻もうとする時平の舎人松王丸と、三人の兄弟で激しく争いますが、牛車の中から現れた時平の威にうたれ引き下がるのでした。



至中津川市

ACCESS

車 / 下呂温泉から国道257中津川方面へ約12km

バス / 濃飛バス「御厩野(みまやの)」バス停下車すぐ

・下呂駅前(12:40) → 御厩野(13:04)

・御厩野(16:55) → 下呂駅前(17:19)

